

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-236230

(43)公開日 平成5年(1993)9月10日

(51)Int.Cl.⁵H 0 4 N 1/32
1/21

識別記号

C 2109-5C
8839-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁)

(21)出願番号 特願平4-72301

(22)出願日 平成4年(1992)2月21日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号

(71)出願人 000197366

静岡日本電気株式会社
静岡県掛川市下俣4番2号

(72)発明者 小笠原 弘道

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
式会社内

(72)発明者 畑 泰宏

静岡県掛川市下俣4番2 静岡日本電気株
式会社内

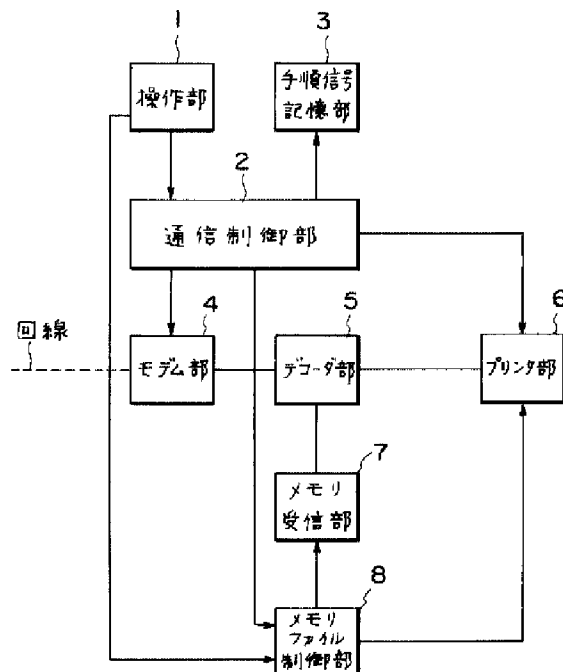
(74)代理人 弁理士 渡辺 喜平

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【目的】 特定の受信は受信のときにプリントし、これ以外の受信は必要性の有無の確認後にプリントする。

【構成】 受信の際に送信側の手順信号を記憶する手順信号記憶部3と、デコード部5で復号化した画信号を記憶するメモリ受信部7と、メモリ受信部7を制御し、文書の1ページ目又は全ページを記録紙に記録させるメモリファイル制御部8と、通信制御部2とメモリファイル制御部8とを操作する操作部1と、受信画信号の手順信号と、手順信号記憶部3の特定の手順信号とを比較し、一致するときは、受信した画信号をプリンタ部6で記録紙に記録し、一致しないときは、メモリファイル制御部8によって、受信画信号をメモリ受信部7へ記憶させる通信制御部2とで構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 回線からの画信号を受信するモデム部と、このモデム部からの画信号を復号化するデコーダ部と、この復号化された画信号を記録紙に記録するプリンタ部と、これらを制御する通信制御部とを備えるファクシミリ装置に対して、受信の際に送信側の手順信号を記憶する手順信号記憶部と、上記デコーダ部で復号化した画信号を記憶するメモリ受信部と、上記メモリ受信部の記憶動作を制御し、上記メモリ受信部に記憶された画信号の一単位の一ページ目又は一単位の全ページを記録紙に記録させるメモリファイル制御部と、上記通信制御部と上記メモリファイル制御部とを操作する操作部とを付設し、上記通信制御部が、上記手順信号記憶部の記憶動作を制御し、受信した画信号の手順信号と、上記手順信号記憶部に記憶された特定の手順信号とを比較し、一致するときは、受信した画信号を上記プリンタ部によって記録紙に記録し、一致しないときは、上記メモリファイル制御部によって、受信した画信号を上記メモリ受信部へ記憶させることを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、自動受信及びメモリ受信機能を備えるファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のファクシミリ装置は、自動受信機能を備えていても、送信元を確認することなく受信して記録している。また、上記のみ無差別な受信をしないために、パスワード受信があり、特定の相手とのパスワードを使って受信できるようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の自動受信機能を備えたファクシミリ装置は、送信元を確認することなく、受信したものの全てを記録紙に受信するため、ダイレクトメールなどの不必要なプリントをしてしまい、記録紙の無駄使いという問題がある。また、上述したパスワード受信では、相手のファクシミリも同一メーカーの同一機能を備える必要がある。さらに、相手にもパスワードを設定してもらうことを強要する不便さがあり、この相手以外とは全く受信できず、手動受信となって非常に不便であり、記録紙の無駄使い対策としては不適当である。

【0004】本発明は、上記問題点にかんがみなされたもので、特定の受信は受信のときにプリントし、これ以外の受信は必要性の有無の確認後にプリントするファクシミリ装置の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1にかかる本発明は、回線からの画信号を受信するモデム部と、このモデム部からの画信号を復号化するデコーダ部と、この復号化された画信号を記録紙に記録するプリンタ部と、これらを制御する通信制御部とを備えるファクシミリ装置に対して、受信の際に送信側の手順信号を記憶する手順信号記憶部と、上記デコーダ部で復号化した画信号を記憶するメモリ受信部と、上記メモリ受信部の記憶動作を制御し、上記メモリ受信部に記憶された画信号の一単位の一ページ目又は一単位の全ページを記録紙に記録させるメモリファイル制御部と、上記通信制御部と上記メモリファイル制御部とを操作する操作部とを付設し、上記通信制御部が、上記手順信号記憶部の記憶動作を制御し、受信した画信号の手順信号と、上記手順信号記憶部に記憶された特定の手順信号とを比較し、一致するときは、受信した画信号を上記プリンタ部によって記録紙に記録し、一致しないときは、上記メモリファイル制御部によって、受信した画信号を上記メモリ受信部へ記憶させる構成とする。

【0006】

【作用】上記のように構成した請求項1にかかる本発明においては、手順信号記憶部に記憶された手順信号と同じ手順信号が受信されると、通信制御部はプリンタ部で記録紙に記録する。一致しないとき、通信制御部はメモリファイル制御部とメモリ受信部によって画信号を記憶させる。操作部の操作によって、メモリファイル制御部がメモリ受信部の一単位の画信号の一ページ目のみプリンタ部で記録し、必要性の有無を判断し、必要な場合に、全ページを記録する。

【0007】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図1に基づいて説明する。図1は本実施例のファクシミリ装置の構成図である。ファクシミリ装置は操作部1によって操作される通信制御部2、この通信制御部2に制御される手順信号記憶部3、モデム部4、デコーダ部5、プリンタ部6、メモリ受信部7、メモリファイル制御部8とで構成される。

【0008】上記各部と、これら各部によって構成されるファクシミリ装置は、次のように動作する。まず、相手機と通信を行う場合、モデム部4を介して回線と接続して通信を行う。受信した場合、相手機から送られてくる手順信号(DCS:デジタル命令信号、TSI:送信端末識別信号)は、モデム部4を通して通信制御部2によって解析されて受信動作の制御が行われる。通信中に、ユーザが、操作部1によって記録紙受信許可を指定すると、通信制御部2は、この通信に関する通信手順信号を手順信号記憶部3に記憶させる。

【0009】また、自動着信を行う場合、着信後に相手機より送られる手順信号の任意のbit(通信ごとに異なる原稿サイズや線密度の指定bitを除いたbit)

を、手順信号記憶部3に記憶された手順信号と一致するものがないかの比較を通信制御部2において行う。一致する手順信号が存在するとき、以降の受信動作を記録紙受信で行いプリントアウトする。すなわち、通信制御部2はプリンタ部6に指示してモデム部4で受信した画信号を、デコーダ部5で復号化させてプリンタ部6において記録させる。

【0010】一方、一致する手順信号が存在しないときは、以降の受信動作をメモリ受信で行い記憶させる。つまり、通信制御部2はメモリファイル制御部8に指示してモデム部4で受信した画信号をデコーダ部5で復号化させてメモリ受信部7に蓄積させる。ユーザが操作部1によって1ページのみプリントを指定すると、メモリ受信した画信号の一単位の文書の1ページ目のみをプリントさせ、必要な文書であるかを確認できる。この場合の動作は、操作部1からの指示がメモリファイル制御部8で確認され、メモリファイル制御部8からメモリ受信部7とプリンタ部6とに指示が出される。このとき、メモリ受信部7から蓄積された文書の各1ページが、デコーダ部5へ出力され、復号化された画信号は、プリンタ部6へ送られて記録される。

【0011】この結果、必要な文書と判断された場合、同様にユーザは操作部1において、必要とする画信号の一単位である文書番号と、その文書の全ページのプリントを指定する。操作部1における指示は、メモリファイル制御部8で確認され、メモリファイル制御部8からメ

モリ受信部7とプリント部6へ指示を出す。このとき、メモリ受信部7は、蓄積された文書のうち、指定された文書番号の文書の1ページ目を除く全ページをデコーダ部5へ出力し、復号化された画信号は、プリンタ部6へ送られて記録される。以上のように、不必要な受信文書の全ページをプリンタ部6において記録することなく、記録紙の無駄使いを防止できる。

【0012】

【発明の効果】以上のように本発明によると、普段の通信を行っている特定の相手からの文書は、受信と同時に文書を確認でき、特定の相手以外からの文書は、必要か否かの確認後にプリントできる。従って、ダイレクトメールなどの不必要な文書をプリントして記録紙を無駄に使うことを防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施例のファクシミリ装置の主要部の構成図。

【符号の説明】

- 1 操作部
- 2 通信制御部
- 3 手順信号記憶部
- 4 モデム部
- 5 デコーダ部
- 6 プリンタ部
- 7 メモリ受信部
- 8 メモリファイル制御部

【図1】

